

令和8年9月9日

養父市議会議長 谷 垣 満 様

養父市議会改革推進特別委員会

委員長 深 澤 巧

養父市議会改革推進特別委員会中間報告

本委員会において調査したことを次のとおり中間報告する。

記

- 1 調査年月日 令和8年3月24日（火）、3月30日（月）、4月21日（火）、5月29日（金）、6月12日（金）、6月15日（月）、6月26日（金）、6月29日（月）、7月7日（火）、7月15日（水）、7月23日（木）、7月31日（金）、8月5日（水）、8月19日（水）、8月21日（金）

2 調査事項

- （1）滋賀県日野町議会との合同研修会の実施について
- （2）養父市議会基本条例の条文検証について
- （3）養父市議会こども出前講座
「それいけ！やぶしぎかい 君たちがヒーロー！」の実施について
- （4）管外調査「西脇市議会の取組」の実施について
- （5）第2回議会報告会プラス
「養父小学校区の今後のまちづくり」の実施について
- （6）第3回議会報告会プラス
「養父市の学校給食について」オンライン懇談会の実施について

3 調査内容

- （1）滋賀県日野町議会との合同研修会の実施について
3月30日（月）、但馬長寿の郷において滋賀県日野町議会議員13名、養父

市議会議員 15 名による合同研修会を実施した。全国の地方議会の先駆けとなる、県境を越えた市町議会の取組となった。これまでの両議会での議会改革の取組報告の後、「議員のなり手不足の改善に向けて」、「広報・広聴の取組」、「議会の政策提言、政策評価・事業評価の取組」、「議会基本条例とこれからの地方議会」の 4 つのテーマでグループワークによる意見交換を行なった。

常に住民と対話できる関係性を保ち、住民と共に地域課題に向き合い、政策提言につなげ成果を出すことができる議会力向上を目指す、との考えを共有することができた。今後においても、両市町で共通する行政課題を相互研修する機会などをつくり議会間交流を拡充していきたい。

（２）養父市議会基本条例の条文検証について

養父市議会基本条例の逐条検証を引き続き行なった。前文及び第 1 条から第 4 条、第 17 条から第 23 条までの検証を終えた。第 18 条議員定数、第 19 条議員報酬については、次期改選 1 年前を目途に検証と必要な見直しを行うものとする。

条文検証においては、第 7 条に関連する市長等の反問権・反論権規定の明文化、第 10 条の地方自治法第 96 条第 2 項の議決事件についての拡大、第 15 条の議会事務局の体制整備に関する議長の任免権等についてなど論点をさらに整理し調査を継続していく。

（３）養父市議会こども出前講座「それいけ！やぶしぎかい 君たちがヒーロー！」の実施について

議会の仕組みをわかりやすく伝え、主権者教育の推進、ふるさと意識の醸成と市内小学生との意見交換の場として企画した出前講座を実現することができた。

6 月 12 日（金）の養父小学校を皮切りに 7 月 15 日（水）の伊佐小学校まで合計 6 校の 6 年生 7 クラスでの講座開催となった。児童たちの輝く眼差しを受け、感動と新鮮な刺激を受けた議会活動となった。

テキストの内容やクイズ形式を用いた講座進行について学校側にアンケートを行った。各学校からは主権者教育の実践として「良かった」、「効果があった」という回答をいただいている。養父小学校、大屋小学校児童からは「養父市に提案しよう 私たちの願い」などの提言集をいただいた。市民からの大事

な政策提案とする。

各学校の理解と協力のもとに実施できたものであるが、本委員会としても各委員が一丸となり取り組めたことを今後に生かしたい。なお、この取組は全国市議会議長会を通じ三議長会主権者教育特設サイトに掲載されている。

(4) 管外調査「西脇市議会の取組」の実施について

7月31日(金)、西脇市議会の取組について調査を行った。西脇市議会は先進的な議会改革を実践する全国有数の議会である。村岡議長をはじめ、議会運営委員会及び広報公聴特別委員会の正副委員長に熱心に対応していただいた。

「住民の声を政策につなげるポイント」「一般質問から委員会調査・政策提言へ」「予算決算審査のフロー」など西脇市議会が積み重ねてこられた議会改革の要点について教えを受けた。本委員会でも常任委員会の政策提案機能や予算と決算の連動的審査の仕組みの構築を目指しているところであり、この研修成果を生かすものとした。

(5) 第2回議会報告会プラス「養父小学校区の今後のまちづくり」の実施について

8月5日(水)、コミュニティセンターやぶにおいて地域課題に特化した議会報告会を試みた。4月に開催した当地での議会報告会で、住民から養父小学校・養父こども園の廃校廃園と旧養父グンゼ跡地活用事業の中断について多くの疑義が出された。議会側から、地域住民との議論なくしてこれらの事が進むことが一番のマイナスであり、改めて皆さんと議論をしたいと提案し、即座に賛同を得ての開催となった。

当日は28名の参加があり、養父小学校、養父こども園の廃校廃園、地区の担い手不足、旧養父グンゼ跡地活用について集中した討議の場となった。住民側から、学校園の統合については時間をかけても地域を交えた話し合い、理解の場が必要である、また跡地活用事業についてはこのままではなに一つ成果がない、議会から市に対し提言を投げかけるべき、との意見をいただいた。

(6) 第3回議会報告会プラス「養父市の学校給食について」オンライン懇談会の実施について

8月21日(金)、「養父市の学校給食について」をテーマにして、2回目の

市民とのオンライン懇談会を総務文教常任委員会との共催で実施した。調査内容については、後日報告予定の総務文教常任委員会の調査報告を参照されたい。

4 まとめ

こども出前講座、先進地議会への管外調査、議会報告会プラスなど、多くの密な活動に取り組むことができた。今後においては、議会基本条例の条文見直し、常任委員会の機能強化、予算・決算審査のあり方について具体的な提言をまとめていきたい。

また、こども出前講座や議会報告会プラスの継続と定着化に向けての課題を整理していく。